

静岡県生協連 NEWS



2022年4月発行

〒420-0031 静岡市葵区呉服町1-3-14

YS 静岡呉服町ビル 8F

【TEL】054-253-5987 【FAX】054-272-6971

【E-mail】mt-fuji@msa.biglobe.ne.jp

【HP】http://shizuoka-kenren.jp

くらしに役立つセミナー「専門家に聞く“新型コロナ対策の今 超入門”」

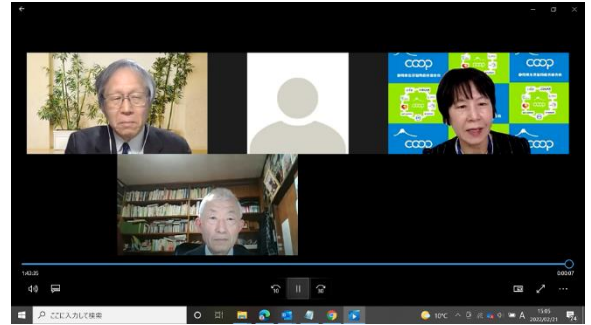
1. 開催日時 2022年2月19日(土) 14:00~15:45
2. 開催方法 zoom ウェビナー
3. 講師 矢野邦夫先生(浜松市感染症対策調整監/浜松医療センター感染症管理特別顧問)
4. 参加状況 申込者93名、当日視聴者68名
5. 開催概要

3 すべての人に
健康と福祉を



中村範子常務理事の司会により開会され、主催者を代表し稲垣滋彦会長よりあいさつが述べられました。司会より講師の矢野邦夫先生の経歴が紹介され、オンライン講演が行われました。

先生からは、新型コロナウイルスの症状、どういう人が重症化するか、クラスターの発生しやすい状況、感染の形態、感染対策(手指消毒、マスクなど)と見直すべき感染対策、ウイルス変異株、ワクチン、Before コロナに戻るためのシナリオ、重大な感染症の問題など大変幅広い内容についてエビデンスにもとづく説明がされました。講演後には質疑応答が行われ、事前にいただいた質問から「コロナ経口薬の効果について」「家庭内感染の減らし方について」、さらに当日のチャットから「災害発生時の感染者対応について」「学校での歯磨き中止について」も質問され、先生から回答されました。質疑応答の後、先生からはあらためて飛沫対策の徹底が重要であることが強調されました。視聴者にはオンラインアンケートにご回答いただきました。



生協役員研修会「自然災害発生時の地域協同・連携について」

1. 研修内容
 - (1) 静岡県災害ボランティア本部による被災者支援活動について(静岡県社会福祉協議会地域福祉課長 松浦史紀氏)
 - (2) 諸団体と連携した被災者支援活動について(静岡県ボランティア協会常務理事 鳥羽茂氏)
 - (3) 県内生協の被災者支援活動事例の交流(①生活協同組合ユーコープ ②静岡県教職員生活協同組合)

11 住み続けられる
まちづくりを



2. 開催日時 2022年3月2日(水) 13:30~15:30
3. 開催方法 オンライン方式(zoom ミーティング)
4. 参加者 21名(7生協2連合会)
5. 開催概要

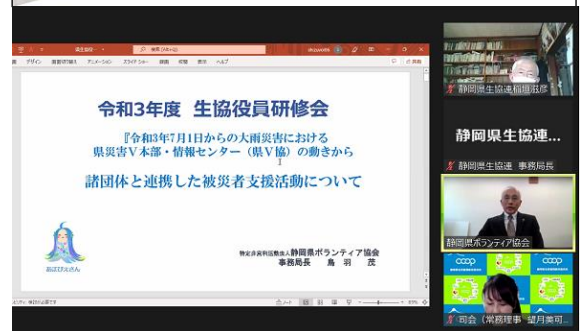
松浦課長からは、7月豪雨災害発生時の県災害ボランティア本部・情報センターの設置と情報共有会議の開催、被災地(熱海市・沼津市・富士市)での災害ボランティア活動支援の取組みについて詳細に報告されました。今回の災害では、被災地の災害ボランティア本部と県とをオンラインでつなぎ情報共有を図ったことや熱海市でもSNSを活用してボランティア参加者を募集したことにより、従来よりも情報共有がスピーディに進められたことや、情報共有のためのデジタルツールが活用されたことが報告されました。しかし、支援活動を進めるうえで「普段からのつながりづくり」の大切さが強調され、今後、生活協同組合との連携を強化していきたい旨が述べられました。

鳥羽常務理事からは、県ボランティア協会が災害ボランティア活動に継続的に関わってきた経緯について述べた後、熱海市土石流災害発生時の被災者のニーズの把握と企業や諸団体からの被災者支援活動の仲介・調整を行ったことが報告されました。普段からつながりのあった団体との情報共有や連携の促進が課題であることが述べられました。

会員生協による被災者支援活動では、東豆地区学生協・学校生協連による熱海市熱海中学校・伊豆山小学校への学用品寄贈の取り組み、ユーコープによる食料品(レトルト白がゆ)寄贈、義援金・支援金寄贈の取り組みが報告されました。



社会福祉法人
静岡県社会福祉協議会
地域福祉課 課長 松浦史紀



ロシアによるウクライナ侵攻に対し緊急声明を発表しました

2022年2月24日、ロシア軍によるウクライナへの侵攻が開始されました。静岡県生活協同組合連合会はロシア軍によるウクライナ侵攻に抗議し、武力行為の即時停止を求め、「緊急声明 ロシア軍によるウクライナ侵攻に強く抗議し、話し合いによる問題解決を求めます」を発表しました。

【会員生協の対応】

(ユーコープ)：ロシア大使館に抗議文「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に強く抗議します」を送付。「ウクライナ緊急支援募金」を募集。

(パルシステム静岡(パルシステム連合会))：【緊急声明】「ロシア軍のウクライナ侵攻に抗議し戦争の即時終結と平和の実現を訴えます」を発表。「ウクライナ人道危機緊急募金」を募集。

(静岡大学生協(全国大学生協連))：「ロシアによるウクライナ侵攻について」発表。

(生活クラブ(生活クラブ事業連合会))：「ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に反対する会長声明」を発表。

(浜北医療生協)：ロシアのウクライナ侵攻に対する抗議声明。

16 平和と公正を
すべての人に



【静岡県教職員生活協同組合・静岡県学校生活協同組合連合会】 古紙循環取引プロジェクト(クローズドリサイクル)

事務所内で発生する紙ごみやカタログ類、段ボールなどの処分を12月から古紙循環取引プロジェクト(クローズドリサイクル)としてスタートしました。このプロジェクトは、社会福祉法人の雇用促進や給料アップ等に結び付くなど、社会貢献活動を併せ持つリサイクル活動となりました。

この活動については取材を受け、静岡新聞にも掲載されました。



15 陸の豊かさも
守ろう



行政・諸団体関係への役員の参加状況(2022/2月~2022/3月)

2/3 消費者問題ネットワークしずおか第3回役員会	3/10 フードバンク第5回理事会
2/9-14 フードバンク仕分けボランティア	3/15 第3回ふじのくに消費者教育推進県域協議会
2/19 企画「専門家に聞く“新型コロナ対策の今”超入門」	3/18 県労福協 第5回理事会/第3回理事会
2/25 中央地連第4回組合員活動委員会	3/23 中央地連 第5回運営委員会/総会議案検討会
3/1 被災68年2022年3.1ビキニデー	3/25 静岡県生協連第6回理事会
3/2 生協役員研修会	3/29 消費者問題ネットワークしずおか第4回役員会
3/4 ALWF 第4回理事会	

常務理事活動レポート

令和3年度 浜松市消費者教育推進地域協議会

年代層が上がるほど消費生活相談件数が増え、全体では通信販売が最も多く、若年層ではゲーム課金・中年層では定期購入・高年層では光回線の勧誘が相談の上位をしめています。4月からの成年年齢変更で便利になった反面、若者の消費者被害も懸念されています。浜松市は小中学生期から教材に契約の基本的事項を盛り込んだ消費者教育推進を図っています。市民アンケートで「フェアトレード認知度」は44.5%でした。フェアトレードタウンの浜松市はSDGsの概念を踏まえたエシカル消費の普及にも力を入れ消費者市民社会の実現に向けた取組をしています。(中村範子)

被災68年2022年3.1ビキニデー集会

昨年から引き続き、オンライン開催となりましたが、全国から昨年を上回る参加が実現しました。メイン企画では、韓国からの報告や高知県とマーシャル諸島からビキニ被災後の現状報告等、オンラインならではの報告が好評でした。また、ウクライナ侵略という情勢を受け、参加者からは、この侵略に強く抗議し、ロシア軍の軍事作戦の即時中止と撤退を求める発言が相次ぎました。なかでも、核兵器についての不安や憤りについての発言は、核兵器の全面禁止を世論に訴える呼びかけになったと思います。(望月美可)

静岡県生協連 2021年度第6回理事会



【日時】2022年3月27日(金) 13:30~15:30

【場所】ユーコープしずおか県本部会議室

(静岡市葵区呉服町) および Web 会議システム

【出席者】理事 15名(うち13名が Web 出席) 監事 2名

【議長】稲垣滋彦会長

【議決事項】

(1) 第57回通常総会の開催について

(2) 第57回通常総会の代議員数について

(3) 第57回通常総会での役員選任について

【協議事項】

(1) 2021年度静岡県生協連活動進捗報告(2次案)

(2) 2022年度静岡県生協連活動方針(1次案)

【報告事項】

(1) 2022年度年間日程について

(2) 2022年度会員生協の会費について ほか